



緊張を乗り越え、訓練の成果を発揮

上益城郡消防大会(操法大会)小型ポンプ操法の部

嘉島町で7月6日、平成26年度上益城郡消防大会が開催され、上益城郡内の5か町から選抜された全11チームが操法技術を競い合いました。

会場では約600人が競技を観戦。本町から出場した第5分団第3班(杉堂)と第4分団第1班(畑中・田中・谷川)も緊張の中、競技を行いました。上位入賞は逃したものの、観客からは盛大な拍手が送られました。早田団長は「5か月間よく頑張ってくれた。引き続き消防活動にまい進してほしい」と健闘をたたえました。



応援の団員らが見守る中行われた操法大会(第5分団第3班)



法務局職員の代読で感謝状を受け取る内田さん

退任人権擁護委員に感謝状贈呈

2期6年間活動した内田陽子さんが法務大臣表彰

役場町長室で7月7日、退任する人権擁護委員に法務大臣表彰感謝状贈呈式が行われました。

感謝状を贈られたのは子ども人権委員の内田陽子さん(惣領2町内)。益城中央小で児童の悩みや相談などを受けて、2期6年間の人権啓発活動を行いました。

その長年にわたる功績をたたえて法務大臣から感謝状が贈られました。内田さんは「子どもたちの人権意識が高められればと活動してきました。啓発活動は自分の勉強にもなりました」と6年間を振り返りました。

思春期の中学生に学んでほしい

親しい男女間で起こる暴力「デートDV」の講演会

木山中学校で7月3日、県人権擁護委員協議会上益城部会(井口誠一会長)の男女共同参画社会推進委員会がデートDVの講演会を行いました。

これから思春期を迎える中学生に学んでもらいたいと、3年生80人を対象に開催。デートDVが潜む身近な場面を描いたビデオに、同委員が行うコミカルな寸劇を交えて啓発を行いました。講演後、坂本碧美さん(3年生)は「身近な問題だと感じた。友達にアドバイスできるようになりたい」とお礼を述べました。



身近な内容のDV事件に真剣に講演を聞く生徒たち

今月の輝く笑顔

